
ポートの使用状況

CAD 7.5 で使用されるポートの全リストと接続タイプの詳細については、『*Cisco Contact Center Product Port Utilization Guide*』を参照してください。

レジストリ エントリ

次の表に、CAD サービスで使用される設定可能なレジストリ エントリのリストを示します。

注意：この章に示す表にリストされていないレジストリ エントリについては、値を変更しないでください。記載されていないレジストリ エントリの値を変更すると、データの損失や製品の機能に悪影響が生じる可能性があります。

Site Setup

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Spanlink\CAD\Site Setup¥

表 1. Site Setup レジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Site Setup	APP VERSION	string	サービス ソフトウェアのバージョンを識別するためにインストール スクリプトが使用します。サービス自体は、このエントリを使用しません。
	CALLCENTERLANG	string	インストール時に選択される言語。
	INSTALL DIRECTORY	string	シスコのソフトウェアで基本となるインストール ディレクトリ。
	IOR HOSTNAME	string	コンピュータのパブリック NIC のホスト名または IP アドレス。値は CAD サービスのコンピュータにだけ存在します。
	LDAP Bind DN	string	LDAP サービスにログインするためのユーザ ID。デフォルト = cn=Client、ou=People、o=Spanlink Communications。
	LDAP Connection Timeout	DWORD	接続試行がタイムアウトするまでの最大時間 (秒単位)。デフォルト = 15。
	LDAP Heartbeat Enabled	DWORD	ハートビートが有効かどうか。1 = はい、0 = いいえ。デフォルト = 1。
	LDAP Heartbeat Retry Time	DWORD	ハートビート時間 (ミリ秒単位)。デフォルト = 10000。

表 1. Site Setup レジストリ エントリ (続き)

キー	値	タイプ	説明
Site Setup (続き)	LDAP Host 1	string	LDAP サービスのホスト名および IP アドレス。複数の LDAP ホストが使用可能です。
	LDAP LCC	string	デフォルトの論理コンタクトセンター。デフォルト = Call Center 1。
	LDAP Port 1	DWORD	LDAP サービス ポート。複数の LDAP ポートが使用可能です。デフォルト = 38983。
	LDAP Pwd	string	暗号化されたユーザ パスワード。
	LDAP Recovery Retry Time	DWORD	復旧再試行時間 (ミリ秒単位)。デフォルト = 3000。
	LDAP Request Timeout	DWORD	LDAP 要求がタイムアウトするまでの最大時間 (秒単位)。デフォルト = 15。
	LDAP Root	string	LDAP データのルート。デフォルト = o=Spanlink Communications。
	MONITOR DEVICE	string	パケットをスニッフするネットワーク カード。
	Serial Number	DWORD	サイト設定の値の変更を通知するカウンタ。デフォルト = 0。

BIPPA サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥IPPA¥

表 2. BIPPA レジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Config	TOMCAT HOME	string	Tomcat Web サーバ ファイルが保存されている場所。デフォルト = C:¥Program Files¥Cisco¥Desktop¥Tomcat¥。

録音と再生サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Recording & Playback Client¥

表 3. 録音と再生レジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
setup	From Client Port	DWORD	セッションを再生するオーディオストリーム「From Agent」を受信するために使用するスーパーバイザのデスクトップのポート。
	Jitter Buffer	DWORD	再生前にバッファリングする音声データの量。デフォルト値 = 1000 ms。一般的なネットワークでは、この設定値を 50 ミリ秒まで小さくすることができます。デフォルトはこれより高く設定されていますが、こうすることでネットワークが輻輳状態でもサウンドが高品質になります。
	Sound Buffers	DWORD	サウンドカードに送信するオーディオ データを保持するためのバッファ数。デフォルトは 10 です。サウンド品質が悪い場合、この数を増やすと品質が向上します。
	To Client Port	DWORD	セッションを再生するオーディオストリーム「To Agent」を受信するために使用するスーパーバイザのデスクトップのポート。
	VPN Port	DWORD	録音と再生サービスがその VPN アドレス サービスで使用するポート。これは、クライアント アプリケーションが、他のクライアントやサービスで使用される自身のビジブル IP アドレスを特定するために使用するポートです。このエントリは、録音と再生サービスにおける対応するエントリを変更した場合を除き、変更しないでください。

録音と再生サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Recording and Playback Server¥

表 4. 録音と再生サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
config	Audio Directory	string	録音したコールのオーディオ ファイルを保持するディレクトリへのフルパス。この値は、デフォルトのディレクトリを使用できない場合にだけ変更してください。
setup	IOR HostName	string	クライアントに表示されるこのマシンの IP アドレス。クライアント用の接続ストリングを構築するサービスがこれを使用します。
	Maximum Playbacks	DWORD	未処理の同時再生要求の最大数。
	Maximum Recordings	DWORD	未処理の同時録音要求の最大数。
	OmniOrbUsePort	DWORD	録音と再生サービスがクライアント要求をリッスンするための CORBA ポート。
	VPN Port	DWORD	録音と再生サービスが、自身のビジブル IP アドレスを求めるクライアントからの要求をリッスンするためのポート。このエントリを変更する場合は、すべてのクライアント アプリケーションの対応するエントリも変更する必要があります。

録音と統計サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥RASCAL Server¥

表 5. 録音と統計サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
config	DB Admin Account	string	SQL Server CADSQL インスタンスを実行するアカウント。
	DB Admin Created	DWORD	インストールで DB Admin Account が作成されたかどうかを示す値。
	DB Admin Group	string	DB Admin Account が所属するグループ。
	DB SCRIPT MESSAGE	string	テクニカル サポートがトラブルシューティングに使用するエラーメッセージ。
	DB SCRIPT RESULT	string	テクニカル サポートがトラブルシューティングに使用するエラーメッセージ。
	RASCAL Service Account	string	録音と統計サービスを実行するアカウント。
	Replication Enabled	DWORD	複製が設定されているかどうかを示す値。
	Replication Publisher	string	複製に参加しているいずれかのコンピュータの名前。
	Replication Script Message	string	テクニカル サポートがトラブルシューティングに使用するエラーメッセージ。
	Replication Script Result	string	テクニカル サポートがトラブルシューティングに使用するエラーメッセージ。
	Replication Subscriber	string	複製に参加しているいずれかのコンピュータの名前。

VoIP モニタ クライアント

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥VoIP Monitor Client¥

表 6. VoIP モニタ クライアントのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
config	FROM AGENT PORT	DWORD	IP エージェントから送信される RTP ストリームの IP ポート。デフォルト値 = 59012。ポートは偶数にする必要があります。次のポートは RTCP ストリームに予約されています。
	JITTER BUFFER	DWORD	再生前にバッファリングする音声データの量。デフォルト値 = 400 ms。一般的なネットワークでは、この設定値を 50 ミリ秒まで小さくすることができます。デフォルトはこれより高く設定されていますが、こうすることでネットワークが輻輳状態でもサウンドが高品質になります。
	SERVER HOST	string	VoIP モニタ サービスのホスト名。
	SOUND BUFFERS	DWORD	サウンドカードのバッファ数。デフォルト = 30、最小値は 3 です。モニタ サウンドに途切れや空白時間が発生したり、モーターポートのような断続的な音になったりする場合は、この値を大きくして品質を改善できます。より高い値に設定すると、サウンドが遅延し、モニタ セッションの冒頭に短時間の空白時間が生じる場合があります。
	TO AGENT PORT	DWORD	エージェントの IP 電話に送信される RTP ストリームの IP ポート。デフォルト値 = 59010。ポートは偶数にする必要があります。次のポートは RTCP ストリームに予約されています。

VoIP モニタ クライアント (任意)

VoIP モニタの録音 API にデフォルト値が組み込まれているため、これらのレジストリ エントリは必要ありません。次のエントリはデフォルトを上書きする場合に使用できます。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥VoIP Monitor Client

表 7. VOIP モニタ クライアントのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Setup	Recording Jitter Buffer	DWORD	パケット録音が期限切れになるまでの時間 (ミリ秒単位)。
	Recording Port Range Start	DWORD	録音用に UDP パケットを受信する開始ポート番号。
	Recording Port Range End	DWORD	録音用に UDP パケットを受信する終了ポート番号。